

2020年4月1日

No. 20-097

株式会社 伊予銀行

ウェアラブル端末を活用した従業員の健康増進ツールを導入します！

～従業員の健康意識を高め、生活習慣の改善など自律的な行動変容を促す～

株式会社伊予銀行（頭取 三好 賢治）は、健康経営の取組みを一層深化させるため、新たな取組みを開始しますので下記のとおりお知らせします。



従業員の健康意識を高めることで生活習慣の改善などの自律的な行動変容を促す「ポピュレーションアプローチ」として、2020年4月より、Fitbit (NYSE:FIT) のウェアラブル端末を希望する全役職員に貸与します。

また、従来から実施している健康診断などのいわゆる「ハイリスクアプローチ」についても、従業員の健康情報をデジタル化し、従業員が自身の健康状態を時系列で把握できるシステム「H.S.S.（ヘルスサポートシステム）」を導入します。

今後も企業の持続的成長を支えるのは従業員であるとの認識のもと、「ポピュレーションアプローチ」と「ハイリスクアプローチ」を健康経営の両輪として実施してまいります。

記

健康経営の取組み



| ポピュレーションアプローチ | | ハイリスクアプローチ | |
|---------------|---|---|---|
| ＜ウェアラブル端末の貸与＞ | | ＜健康管理システムの更改＞ | |
| 対象者 | 希望する全役職員  | システム | H.S.S.（ヘルスサポートシステム）  |
| 機種 | Fitbit Inspire HR™ | 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・従業員の健診、就労、ストレスチェックデータを一元管理 ・データ分析に基づく従業員への効果的な対応などを実現 ・従業員自身のPCやスマホで健診結果等の内容を閲覧可 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・歩数や心拍数、消費カロリー、睡眠等の生活習慣が見える化し、従業員が自身の生活習慣を把握し、生活習慣の改善に活用 ・銀行は計測データを取得し、ウォーキングキャンペーンなどの各種イベントや保健指導を実施 | <p>＜40歳以上の従業員の人間ドック受診＞</p> <p>疾病リスクの高まる40歳以上の従業員（被保険者）の人間ドックの受診を義務化</p> | |

健康の維持・増進



疾病の早期発見・重症化予防

＜健康増進体制の強化＞

- ・2019年4、7月 保健師を増員（保健師3名体制） 
- ・2019年8月 健康増進体制の高度化を目的に人事部の内室として「健康経営推進室」設置
- ・2020年1月 心と身体の健康のため保健師の巡回活動開始 

以上